

平成 24 年度 第 2 回 文化財保護委員会会議録

■日時：平成 24 年 12 月 23 日（日）午後 1 時から午後 5 時 30 分

■場所：郷土資料館会議室兼資料取扱室

出席者：島村圭一委員長、中村誠二委員、新井浩文委員、長谷川清一委員、北村俊行委員
吉羽秀男教育長、青木秀雄館長、河井伸一主査、横内美穂主任

会議次第

- 1 現地調査・視察
 - ①西光院・五社神社
 - ②宝生院
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - (1)視察研修のまとめ
- 4 特別展「杉戸宿～杉戸宿と百間領の村々」の見学

会議概要

○現地調査・視察

西光院の徳川家康画像、太田資正判物写、諸宗寺院法度写の採寸及び写真撮影、調査。

五社神社の見学。宝生院の釈迦堂内の見学

○現地調査のまとめ（郷土資料館会議室）

○特別展「杉戸宿～杉戸宿と百間領の村々」の見学

会議録及び調査結果

○役場前に集合。庁用車 2 台で西光院に向かう。

○西光院調査

・西光院客殿にて、徳川家康画像、太田資正判物写、諸宗寺院法度写の採寸を行う。北条康成書状と北条氏房判物も見せてもらう。徳川家康画像は絹本であるが、風帯等も全て絵で書かれている。住職の長男さんとお孫さんが対応してくれる。

・徳川家康画像。絹本着色。本紙上に風帯、一文字、画像等全てが書き込まれている。カビ被害がでている。79.3×40 cm（画像部分）。148.9cm×50.1cm（全体）。軸長は 54cm、軸径 2.3cm。

・箱（家康画像）8cm×69.6cm。高さ 8.5cm。（表）東照宮御絵像 百間山西光院 （裏）東照宮御絵像 東叡山御絵所 宗庭 御修復調進。

- ・太田資正判物写。楮紙。5月13日。29.8×41 cm。
- ・諸宗寺院法度写。楮紙。寛文5年7月11日。33.1×87.2 cm。
- ・西光院での調査終了後、五社神社の見学をして、宝生院へ向かう。

○宝生院調査

- ・釈迦堂内に入り調査。調査終了後、郷土資料館へ向かう。

○郷土資料館会議室で本日のまとめ

- ・徳川家康画像の軸のサイズと箱のサイズが異なっていたところが気になった。軸の方が小さく感じた。
- ・徳川家康画像が風帯や一文字、本紙も含め絵で書かれていた。絵描き表装という。
- ・若干カビが発生していた。
- ・太田資正判物写は指定されている。徳川家康画像内の文書は指定ではない。朱印箱も画像の箱も指定ではない。

○特別展「杉戸宿～江戸時代の絵図の見学」